大きな「門」としての入り口ホール

三共工作械資料館

三共製作所は工作機械の発展進化の歴史において貴重な、一番古いものは十七世紀に遡る工作機械を多数収集されている\*。これまで工場敷地内の古い工場の一角に密かに保管されていたが、機械加工の分野に関心をもつ若い人たちに見せたいと博物館を整備されることになった。最小限の改修で魅力的な機械博物館の空間を設けることを目指した。保管されていた大きな工場の入り口側を円弧壁で仕切る。床も壁も白い円弧壁に囲まれる入り口側は展示の導入のために使い（現在展示工事中）、展示場側は展示品を一望に見渡すことができるように床面より一段高い円弧状のバルコニーとする。こちら側は床も壁も青く塗装し、展示室の中に鮮やかな暗さを演出した。幅の広いゆったりした階段は、団体の観覧者が説明を聞く場所にも使える。

 http://machinetool.co.jp/17\_01.html

建物名称：三共工作機械資料館

所在地：静岡県菊川市本所2700-1他

主要用途：工場

建築主：株式会社三共製作所

設計：アプルデザインワークショップAPLdw

担当/大野秀敏、江口英樹、山本真也、齋藤せつな

施工：平井工業

改修部分面積：461.88m2

工事期間：2015年10月〜2015年12月

主な内部仕上げ:

床:構造用合板t24+下地フェルトt8+ニードルパンチカーペットt4

壁：FPFGボードt6+t6+t6 EP塗装

天井：既設天井

写真：佐藤振一写真事務所